

介護職員等処遇改善加算について【職場環境等要件について】

当法人は、令和8年6月より介護老人保健施設、(介護予防)短期入所療養介護、(介護予防)通所リハビリテーションについて、介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ口、居宅介護支援事業所、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)訪問看護について介護職員等処遇改善加算を算定いたします。

～職場環境等要件（賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組みについて）～

《入職促進に向けた取組》

○他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築

【当施設の取り組み】

・採用条件を年齢等不問とし、未経験者の方でもわかりやすい業務内容の見直しと、指導を実施していきます。

○職場体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施

【当施設の取り組み】

・中学校等の職場体験や実習を積極的に受入れ、地域貢献活動を実施し、介護の魅力向上に努めていきます

《資質の向上やキャリアアップに向けた支援》

○働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等

【当施設の取り組み】

・実務者研修受講のためのシフトの調整支援や、外部管理者研修などの研修受講者に対して研修費支援を行っていきます。

○上位者、担当者によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保

【当施設の取り組み】

・目標管理やキャリアアップに関する上司による面談を年に1回実施し、働き方についてはその都度対応できるようにします。

《両立支援・多様な働き方の推進》

○職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備

【当施設の取り組み】

・育児(介護)短時間労働制度の推進と、欠員時の非正規職員への情報提供を行います。

○有給休暇が取得しやすい環境の整備

【当施設の取り組み】

・積極的に有給休暇を取得しやすくするために、有休付与日数の50%以上を目標とし、また業務の効率化と業務分担を図っていきます。

《腰痛を含む心身の健康管理》

○業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実

【当施設の取り組み】

・メンタルヘルスの研修を受講済みの職員による相談窓口を設置しております。

○介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施

【当施設の取り組み】

・ケア向上のための委員会を設置し、リフト等の介護機器を導入し、腰痛対策を実施していきます。

○短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施

【当施設の取り組み】

・短時間労働者も年に1回の健康診断、ストレスチェックを実施していきます。

《生産性向上のための業務改善の取組》

○厚生労働省が示している「生産性ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修の活用等）を行っている

【当施設の取組み】

・生産性向上推進委員会の体制を構築し、定期的に委員会を開催し、職員の負担軽減及び勤務状況への配慮等を検討していきます。
○業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている。

【当施設の取組み】

・定期的に記録や様式等を見直し、介護ソフト内に電子化して情報の共有を行っています。
○介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入

【当施設の取組み】

・介護ソフト及びタブレット端末を導入し、業務の効率化を図り、業務量の軽減を実施していきます。

《やりがい・働きがいの醸成》

○ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善

【当施設の取組み】

・思いやり委員会を設置し、職員ひとりひとりの声が届くような体制づくりと、それを踏まえた勤務環境を整備していきます。
○ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供
・主任者会議にて「家族からの声」を支援相談員より情報提供し、議事録にて回覧していきます。

令和8年4月1日

医療法人けんゆう会